

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営費	豊富社会教育センターグラウンドフェンス工事	美里町	1,900,000	1,900,000	総事業費 2,350,897
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営費	佐俣の湯農産物直売所空調設備改修工事	美里町	3,567,000	3,567,000	総事業費 5,339,695

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営費	豊富社会教育センターグラウンドフェンス工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美里町		
交付金事業実施場所		熊本県下益城郡美里町豊富地内		
交付金事業の概要		豊富社会教育センターグラウンドフェンス(L=97m)の取替工事 美里町では、第2次振興計画に基づき、老朽施設設備の整備改修等に取り組んでおり、豊富社会教育センターグラウンドに設置してあるフェンスが対応年数を超過し老朽化が原因で傾くなど施設利用者等の安心と安全を確保できていないため、平成30年1月～平成30年2月にかけて、本交付金を活用し、町が当該フェンス(L=97m)の取替工事を行ったものです。		
総事業費		2,350,897	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	1,900,000 1,900,000
交付金事業の成果目標		美里町では、第2次振興計画において、教育文化のまちづくりとして社会教育施設の老朽化に伴う改修の必要性を記載し、老朽化施設設備の整備改修、生涯学習機会の提供、地域間の連携強化、施設の利用促進等を図ることとしているため、事業を実施することで、公共用の施設の整備によるこれら施策等の促進を図ることを目標とします。		
交付金事業の成果指標		美里町第2次振興計画では、本事業に関する具体的な指標は設定していないものの、豊富社会教育センター施設利用件数として、平成28年度利用実績144回を越す年間約168回の利用を目指すこととします。 (144回/年=12回/月=3回/週と想定し、2週間に付き1回の利用増(14回/月)として算出)		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、豊富社会教育センターグラウンドフェンス(L=97m)を更新することで、施設利用者等の安心と安全を確保することができました。今後は、地域住民のさらなる積極的な利用により平成28年度利用実績を越す年間168回の利用を見込み、併せて地域コミュニティの維持増進が期待されると評価しています。引き続き、老朽化した施設や設備の維持補修・改修事業に取組み、本町の社会教育・社会体育の発展に寄与するよう努めることとします。なお、平成30年度末時点による改修後の年間利用者数に基づく再評価を実施することとします。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
社会教育施設整備		指名競争入札	有限会社 中川建設	2,350,897
計				2,350,897
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無			無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度
				H31年度

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営費	佐俣の湯農産物直売所空調設備改修工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美里町		
交付金事業実施場所		熊本県下益城郡美里町佐俣地内		
交付金事業の概要		空調機器取替4基・配管、電気設備改修工事 美里町では、まち・ひと・しごと創生総合戦略において、農産物の品質向上・生産拡大・供給の安定を図ることとしており、道の駅に併設する物産館(農産物直売所)の空調設備が対応年数を超過し老朽化による不具合が発生するなど産業の振興を妨げているため、平成29年6月～平成29年9月にかけて本交付金を活用し、空調機器(4基)及び配管(L=63m)・電気設備の更新工事を行ったものです。		
総事業費		5,339,695	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	3,567,000 3,567,000
交付金事業の成果目標		美里町では、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる魅力ある特産品づくりとして、農産物の品質向上・生産拡大・供給の安定を図ることとしているため、事業を実施することで、町物産館出荷者及び出荷品数の増加により産業の振興を図ることを目標とします。		
交付金事業の成果指標		まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、本事業に関する具体的な指標は設定していないものの、物産館出荷者数及び出荷品数について、平成28年実績の1割増とする出荷者数200人・出荷品数250,000点を目指すこととします。		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、当該物産館の空調設備を更新することで、施設環境を改善することができました。これにより農産物生産者等の積極的な出荷により、平成28年実績から1割増の出荷者数200人・出荷品数250,000点への増加が期待されると評価しています。また、本町のまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる成果目標を達成するよう、引き続き各種事業に取組み、本町の産業の振興を図ることとします。なお、30年度末時点による施設環境改善後の年間出荷者数及び年間出荷品数に基づく再評価を実施することとします。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
空調設備整備		指名競争入札	株式会社 新星	5,339,695
		計		5,339,695
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無			無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度
				H31年度